

平成27(2015)年

4月1日

第167号 毎月発行

編集 公民館だより編集室  
発行 西東京市公民館

毎月第4月曜日は休館日です

西東京市

# 公民館だより

Welcome to Japanese class!

马上就要开设日语教室了!

일본어강좌가 시작됩니다

にほんごこうざが はじまります!

柳沢公民館	柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp	谷戸公民館	谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
田無公民館	南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp	ひばりが丘公民館	ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
芝久保公民館	芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp	保谷駅前公民館	東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

## 音響の道に進む若者たち

# 「自分の道」、見つけた!

「SEKAI NO OWARI」「aiko」「2PM」など、  
人気ミュージシャンのライブに音響・映像・特殊効果技術者として携わる渡辺さんに聞く

芸術に特化した設備を備える下保谷児童センター。その音楽スタジオの管理も任されている渡辺麻菜実さん(25歳)と、渡辺さんとの出会いをきっかけに音響の道に進んだ前田隼さん(21歳)にお話をうかがいました。

**Q: ライブの技術者とはどんな仕事?**

**A:** 何百人ものスタッフの中の一員として働いています。映像担当のときは、LEDパネルを組んで配線しますが、スクリーンの一部分が映らなかったり、それがアーティストの顔の部分だったりしたら大変。失敗は許されません。自分が仕込んだ画面がきれいに出来るとうれしい、というかホッとします。

**Q: 最初からフリーで?**

**A:** アルバイトしていた舞台音響の会社に研修生として就職。1年後フリーになり、現場で私の動きを見たスタッフから声をかけてもらい、次の仕事、次の仕事とつながっています。特殊効果を担当した現場で「音響もできるんだ」と仕事も来ることがあります。

**Q: フリーの世界は厳しいのでは?**

**A:** ライブの仕事は時間との勝負。「できない」と言えないし、叱られることもたくさんありますが、辞めたいと思ったことは一度もありません。ライブが無事終了し撤収したときの達成感、一体感は何ものにも代えがたいです。

**Q: 下保谷児童センターではどんなことを担われていますか?**

**A:** スタジオ管理担当としてメンテナ

ンスをするほか、機材の使い方を子どもたちに教えています。このスタジオでは高校生といえども完成度が高いCDが作れますよ。音のバランスをとったり、リバーブ(残響効果)を入れたり。文化祭でCDを配るバンド、商店街のイベントとして駅のロータリーでライブを開催するバンドもあります。技術面だけでなく、交渉や人のまとめ方などもアドバイスしています。

**Q: 関わった子どもで音響技術の学校に進んだ方は?**

**A:** 7人います。その中の2人は音響の仕事に就きました。児童センターを利用して子どもたちがスタッフとしてライブを手伝ったり、高校生が中学生に、中学生が小学生に教えるという世代間のつながりも生まれています。

**Q: 音楽以外の相談に乗ることは?**

**A:** やりたいことが見つけられずにいる子に「高校生のときどんな子だったの〜」と尋ねられ、話をすることも。親でも先生でもない立場の私には話しやすいのかな。「興味はあるけど、辛いことはしたくない」と言う子には、「好きなことはとことんやってみようよ」と声をかけます。



(取材 平成27年1月29日)

### ●●● 音響の道へ進んだ後輩の声 ●●●



マナミさんがミキシングする姿もステージで転換(次の舞台の準備)をする姿も全てがかっこ良かったです! マナミさんは、僕たち保谷高校現代音楽部がライブをするとき、いつも親身になってくれました。僕は今、音響会社で仕事をするようになり、当

時はずいぶん世間知らずなお願いをしていたと気づきました。素人に対して常に真剣に向き合ってくれるマナミさんは、まさにプロだったんだと痛感しています。マナミさんは、なんと言うか僕にとって師匠であり、姉のような存在です。僕もマナミさんに負けないよう精一杯がんばります!(前田隼)

## 柳沢 子育て中の外国人女性

### 保育付 のための日本語講座

文化の違いに不安を感じている子育て中の外国人のお母さん! 日本語を勉強しながら仲間を作りませんか。

時 5月8日~3月11日(34回)  
毎週金曜日 10時~12時

場 柳沢公民館

対 西東京市に住んで子育てをしている外国人女性

定 20人

保 6か月から小学校に入るまでの子ども10人(1歳までは3人くらい)

費 保育のおやつ代1回50円

申 柳沢公民館の窓口、またはFAXで受け付けます。住所・お名前・子どもの名前と年齢(生年月日)・電話番号を書いてください

FAX042-464-8212です。

“Japanese course for foreign mothers who are bringing up children” (a nursery is prepared)

Yagisawa Kouminkan will hold the Japanese course for foreign mothers who are bringing up children and for mothers who have anxieties about linguistic and cultural gaps.

Why don't you learn Japanese and make friends with others to enjoy your lives?

- ◆ Schedule :May 8th ,2015 ~ March 11th , 2016 (34times)  
Every Friday 10:00 ~ 12:00
- ◆ Place : Yagisawa Kouminkan
- ◆ Object : Foreign women who live in Nishitokyo city and are bringing up children
- ◆ Capacity:20 persons
- ◆ Nursery:10 infants from 6 month year old to preschool age (3persons under 1year old)
- ◆ Snack fee:50 yen per day
- ◆ Application: Please contact us directly, by FAX
- ◆ Apply by FAX: Please note your name, address, phone number, name and age of your children. (FAX number: 042-464-8212)
- ◆ Apply by Telephone:Please call 042-464-8211(Japanese only)